

平成 25 年度第 3 回まちづくり井戸端座談会の結果について

日 時：平成 26 年 1 月 16 日（木）19：00 ～ 21：00

場 所：野洲市役所本館 3 階 第 1 委員会室

<参加者>

- ・ 市民参加者 4 名（うち市議会議員 3 名）
- ・ 山仲野洲市長、富田政策調整部長、玉田政策調整部次長、北田政策調整部次長、吉川政策調整部財政課長、企画調整課（事務局）



<目的>

直近四半期の市政運営や議会で話題になった市民に関心の高いトピックスを集約して最新の状況を報告し、市民の皆さんと気軽に雑談的な雰囲気の中で意見交換をしようとするもの。

<議題>

◎テーマ 1 平成 26 年度予算編成について

平成 26 年度予算編成について、1 次内示(財政担当部長査定後)の状況を報告する。総合計画に基づき、住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくりを実現するため 6 つの柱を中心に予算編成を行う。将来への展望を広げつつ、持続可能な財政基盤の確立をめざす。

◎テーマ 2 行財政改革の推進について

合併から 10 年が経過するが、旧町時代からの課題や合併時の課題が今も残っている。これらの課題解決のための行財政改革の取り組みを報告する。事務事業、組織および公共施設のあり方の 3 つの観点から見直しを行う。5 万人規模の本市の身の丈に応じたサービスのあり方を検証し、計画を取りまとめていく。

◎テーマ 3 野洲駅前南口整備と市立病院の検討について

野洲駅前南口整備について、滋賀県立大・立命館大・野洲市の三者による共同研究の進捗状況を報告する。また市立病院については、立地、運営形態など(仮称)野洲市立病院整備基本構想の検討状況を報告する。

参加者からの主な意見

【○：市民意見、→：市回答】

1. 平成 26 年度予算編成について

○財政が厳しいのは理解できるが、行政の積極的な攻めの姿勢が感じられない。歳出を減らすということはもちろん必要だが、もっと市民が集まる、野洲市に人が集まる事業を企画し、まちにお金を落としてもらえようになにぎわいづくりが必要ではないか。

→合併までに庁舎建設等の基金が取り崩されていたが、小中学校の耐震工事や新クリーンセンターの整備など本来優先して行うべき事業が実施されていなかったため、市長就任後に集中的に取り組んでいる。現在は基礎的な部分を整えている段階であり、市として伸びるための力を溜めているところである。

来年度についても、市民の安全、安心のための予算はしっかり確保している。今後も基礎的な部分を固めたうえで、将来必要な施設等の整備に向けて基金を積み上げていく。

○財政的に厳しい中での予算編成であると感じる。ハード整備などに予算を配分することは難しいが、仕事の効率化を図ったうえで職員の力を活用した事業などの工夫が必要である。

2. 行財政改革の推進について

○身の丈に応じたサービスのあり方とあるが、野洲市は箱物が多いように感じる。施設の中には、利用率の低いものもあると感じている。収益につながる利用方法はないのか。財政が厳しい中で一段の工夫が必要ではないか。

→施設等については、合併以前を含めてすでに出来上がっているものが多く、立地条件や施設の規模によっては利用率の改善が難しいものがある。本来ならば必要に応じて施設を整備すべきだが、既存施設は現状を見直したうえで閉鎖も含めた検討を行う。

3. 野洲駅南口整備と市立病院の検討について

○病院は6~7階建てでイメージできるが、駐車場はどうか。立体駐車場も病院同様に高層建築になると聞いたが、どの程度の規模を想定しているのか。

→新病院の検討では現在の野洲病院の実績を踏まえたうえで、病院以外の施設での利用も含め4~500台規模で5階程度の立体駐車場を想定している。病院とその他の施設では主な利用時間が異なるため、この規模で十分対応可能と考えている。病院よりも高くなることはない。

4. その他

○看板等の標記について

合併から10年が経過するが、未だに「野洲町」と記載される看板等を見かける。取替えるには予算が厳しいのは分かるが、シールを貼るなど、工夫をして対応すべきではないか。

→その看板等が目的や機能を果たしていない場合は、直す必要があるが、「野洲町」を「野洲市」と読み替えることで問題がない範囲は合理的な対応を行っている。ひとつの意見としてはお聞きするが、市として看板の目的が果たされており、安全性などに問題がない場合は、敢えてそこに税金を投入する必要はないと考えている。

○コミセンきたのについて

コミセンきたののグラウンドは、一部がアスファルト舗装となっており、グラウンドゴルフでの利用に影響が出ている。舗装部分は撤去するのか。

→コミセンきたのは防災センターを併設しているため、駐車場や消防訓練に使用する目的でグラウンドが設置されている。現在はグラウンドゴルフとしての使用もされているが、基本は駐車場である。駐車場としての機能が損なわれるため、舗装は撤去しない。なお、グラウンド機能があるのはコミセンきたのだけである。

○視覚障害者誘導用ブロックについて

歩道に設置する視覚障害者誘導用ブロックの上に恒常的に駐車がされている場所がある。また、バス停や案内表示などで歩道が狭くなっている箇所での誘導ブロックの効果はどうか。

→道路交通法違反は警察が指導すべきである事例だが、状況を確認する。歩道が狭隘な箇所についても状況を確認する。

○まちづくり井戸端座談会について

井戸端座談会は、市長と気軽に意見交換が出来る機会だが、市民の参加が少ないのは残念である。良い取り組みなのに定着していないのはなぜか。座談会の資料が難しすぎる。気軽に参加できるよう、もっと市民にわかりやすく、伝わりやすい工夫が必要ではないか。

→広報でも周知しているが、今年度は参加者が少ない。市民に伝わるようPRしていく。